

広島合唱団

創立70周年記念演奏会

平和を歌って70年 すべての生命が輝く明日へ



2024年3月31日(日)

開演 14 時 (開場 13 時半)

JMS アステールフラザ 大ホール

(広島市中区加古町 4-17)

【後援】

広島市、広島市教育委員会、中国新聞社
広島県合唱連盟、広島県文化団体連絡会議
広島のうたごえ協議会
(公財)広島市文化財団文化活動助成事業

主催

広島合唱団

〒730-0853 広島市中区堺町 1-2-9-101
Tel 082-294-3981 Fax 082-295-5065
E-mail hiroutakyo@yahoo.co.jp

ごあいさつ

本日は、広島合唱団創立70周年記念演奏会に、ようこそおいでくださいました。

広島合唱団は、お陰様で、今年5月創立70周年を迎えます。戦後、原爆の惨禍の中から立ち上がり、70年間も広島の地で一貫して平和をテーマに歌い続けてきたことは、私たちの誇りです。

たくさんの先輩団員の皆様が脈々と紡いできたうたごえを受け継ぎ、広島の平和運動、文化運動、労働運動の中で共に活動し学び、運動を支えてこられた方々はじめ、歌を愛するたくさんの方々のご支援、ご協力のおかげでこの日を迎えることができたことに心から感謝申し上げます。

70周年記念事業として、演奏会、大うたう会、70周年記念誌発行、記念グッズ発売、たかだりゅうじ作品集の出版を進めています。広島のうたごえ運動も70周年ということで、同じ年に生まれた国鉄広島ナッパースはもちろん、広島のうたごえ協議会挙げてこの事業に取り組んでいただいています。

今日の演奏会は、コロナ禍の下で苦勞して開いた「2021日本のうたごえ祭典 in ひろしま」の財産とも言える繋がりを実現した企画です。困難な中で協力して下さったたくさんの音楽家の方々のおかげで、今日の舞台があり、本番までの練習期間も豊かな音楽的な経験を重ねることができ、どんなに楽しく充実した日々だったか、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、この間親交を温めてきた三多摩青年合唱団の皆様がはるばる東京から駆け付け、広島ではことあるごとに「共に生きる町合唱団」という名称で何度も一緒に歌っている広島のうたごえ協議会の方々を中心とする合同合唱団の皆様、合唱連盟の皆様、そして小中学生の皆様、OBの皆様と一緒に歌ってくださいます。また、舞台を影で支えてくださるたくさんのスタッフの皆さんにも恵まれ、安心して舞台に立つことができます。

私達が取り組んでいることは、うたごえを通して人々を繋ぐことであり、過去から現在そして未来へと繋いでいくやりがいのある仕事だと改めて感じています。

これからも皆様と共に、平和な世界とすべての生命が輝く明日を願って歌い続けていく決意です。

今後とも広島合唱団へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

本日は、ありがとうございました。



広島合唱団 団長 寺本 美和子

創立70周年記念演奏会 選曲にあたって

演奏会の企画草案はまずは歌いたい歌を思い付くこと。そして何のために、誰のために、加えていえば、果てしない未来へのロマンをしたためながら、そのコンセプト探しを考えるのが私の物差しです。

広島合唱団が生まれて70年。今や創立当時の団員は一人もいませんが、「うたごえは生きる力」のスローガンと共に、その姿は見えなくとも、一人一人の魂と一緒に今日まで歩んできました。

2021年、「日本のうたごえ祭典 in ひろしま」を多くの人たちの協力で成功させることが出来ましたが、全国に出演を呼びかけながら広島合唱団にとって舞台に立てなかった演奏曲がひとつありました。その曲が「みるく世がやゆら」です。「今は平和でしょうか?」という意味を持つ沖縄の言葉ですが、2015年に沖縄戦没者追悼式で朗読された当時高校3年生の知念捷さんの詩に、作曲家の萩京子さんが曲をつけられた名曲です。練習する時間もなく、祭典で歌えなかったこの曲をもう一度取り上げるのが最初の思い付きでした。

次に、「恵み深き緑の大地 惑星よ海よ森よ 幾千万の生命育み 救いたまえ我ら」(アメイジンググレイスのフレーズが舞い降り、「もしもひとつだけねがひかなうならば 戦争捨てて世界に愛と平和を〜」(ねがい)の中学生の言葉で、今も途絶えることのない愚かな戦争への警告を発する歌をリアルに届けることを浮かべました。

さらに広島(ヒロシマ)と平和を愛してやまない「広島 愛の川」が未来につながる歌として降り注いできました。毎年8月6日に原爆ドームの前を流れる灯籠とともにこの歌が流れます。子どもたちを中心としたゆるやかで透きとおるうたごえが行きかう人々の足を止め、「ヒロシマを繰り返さないで、未来こそ平和であってほしい」という願いに包まれます。

約1年半前に草案したプランはこうして整うことが出来ましたが、2021年祭典の時と同様に、「センチュリー管弦楽団」の賛助出演、協演が実現できたこと、加えて東京から「三多摩青年合唱団」の友情出演、そして地元の学校関係者の方々の理解と協力を得ながら、広島合唱団創立70周年記念演奏会がこうして開催できることへの感謝の気持ちでいっぱいです。



音楽監督 高田 龍治

メッセージ

「広島合唱団創立70周年記念演奏会」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

広島合唱団は、本年度で創立70年という節目の年を迎えられました。これまでの間、「うたごえは平和の力・生きる力」を合い言葉に、核兵器廃絶のためのコンサートや修学旅行生の平和学習の場でのミニコンサートなど、ヒロシマ・平和をテーマにした多様な演奏活動や創作活動を通じて、平和への祈りを発信し続けてこられました。こうした活動は、本市の音楽文化の振興はもとより、「平和文化」の振興に大きく寄与するものであり、改めて関係者の皆様の長年にわたる熱意と御努力に深く敬意を表します。

本日は、三多摩青年合唱団、広島センチュリー管弦楽団をゲストに迎えられ、平和をテーマにした曲の演奏に加え、和太鼓と合唱の合同演奏、さらには70周年特別企画として100名での合唱など多彩なプログラムを披露されると伺っています。会場内に響きわたる歌声と演奏を通じて、御来場の皆様に安らぎと明日への活力を届けていただくとともに、平和への思いを共有する「平和文化」が更に広がっていくことを期待しています。

終わりに、本演奏会の御盛会と、広島合唱団の今後ますますの御活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



広島市長 松井 一實

広島合唱団の創立70周年、誠におめでとうございます。そして、本日の記念演奏会の開催に際し、関係される皆さまのご苦勞は大きなものがあつたと推察いたします。皆さまのご努力に深く敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展を祈念しております。

さて、広島合唱団は、1954年に創団され、広島で最も長く活動されてきた合唱団の一つです。広島県合唱連盟にも長く加盟され、広島の合唱界になくてはならない合唱団として活躍されていきました。そのことに、広島県合唱連盟理事長として、深く感謝をいたしますとともに、今後も新たな合唱のステージへと導く活動をしてくださることを願っております。

これまで、「うたごえは平和の力・生きる力」を合い言葉に、「ヒロシマ・平和」をテーマにした演奏活動や創作活動を展開されてきたと伺っております。広島にあって、その活動がいかに大切なものであるかは、多くの人の知ることであるとも思います。また、地域に出かけてのまちかどコンサート、うたごえ喫茶、修学旅行生などの平和学習の場でのミニコンサートなどの地道な活動もされてこられています。

これからも皆さまの演奏活動は、広島に勇気を与えていくものであると信じておりますが、広島県合唱連盟もともに「平和な世界」を願って、歩んでいきたいと思っております。

本日の創立70周年記念演奏会が聴衆の皆さまの心に深く刻まれ、素晴らしい演奏会となることを祈念し、お祝いの言葉といたします。



広島県合唱連盟理事長・中国支部理事 福原 泰弘

広島合唱団創立70周年記念演奏会の開催、心からお祝い申し上げます。

貴団は、創立以来一貫して『広島』を守り、語り、創り、歌い、そして日本から世界に向けて広島のおもいを発信し続けてこられました。今演奏会は、「平和を歌って70年 すべての生命が輝く明日へ」と題して構成されています。通常、この「生命」には「生まれる」ということと、「生きる」ということの二つの意味があり、前者は生命の誕生で、後者は生老病死という人の一生です。「人間には死ぬことと同じように、避けられないことがある。それは生きることだ」。チャップリンの映画『ライムライト』での台詞ですが、人は生まれていつかは死ぬ運命にあります。しかし、今を生きなければなりません。ところが、生きるいのちを脅かす政治がまかり通っています。人命を無視し、国民負担を増やすばかりの「悪法」を並べる政治に国民の怒りを結集しなければなりません。

さあ、開演の幕を開けよう!!。多彩な企画に彩られ、多くの仲間と共に平和と生命の尊厳を歌い交わすコンサートは、必ずや全ての観客を魅了するに違いありません。

全ての生命が輝く時代を音楽の力で歌い広めておられる貴団のますますの発展を祈念し、メッセージといたします。



日本のうたごえ全国協議会 会長 田中嘉治

メッセージ

広島合唱団創立70年を迎えられた団員の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

合唱団のそもそものスタートとは、1954年のメーデー前夜祭の合唱に参加された職場合同合唱団の中から60人ほどが残って「ひろしま合唱団」が産声を上げ、12月に開かれた第一回総会で綱領を決定し、正式名称を「広島合唱団」として記録されています。広島に原爆が投下されて9年後のことです。それから70年、世界最初の原爆被爆地広島の合唱団として、常に平和の先頭に立ち「うたごえは平和の力」を合い言葉に「原爆許すまじ」「青い空は」を始め「アメイジング・グレイス」「ねがい」「俺たちのシルクロード」「人間の歌」等、数多くの平和を求める歌声をこの広島の地から日本全国に、そして全世界へと発信されてきました。

そのうたごえ運動の広がりや、2021年1月22日、国連に於いて世界の50カ国以上の参加で世界で初めて「核兵器禁止条約」が発行される大きな力になり、核兵器が国際的に違法であることが決定されました。このことは、核廃絶を展望する世界の運動にとって歴史的な大きな前進の一步と言えるものです。残念ながら唯一の被爆国である日本政府はアメリカ政府の顔を伺い未だに参加していません。このことは世界的にも恥ずべき態度と言わざるを得ません。アメリカ政府に追随し、大軍拡の政治を進めるの政治を終わりにするしかありません。

そのためにも創立70年記念演奏会を必ず大きな成功で迎えられることを期待します。



広島県文化団体連絡会議 事務局長 亀岡 恭二

創立70周年記念演奏会、成功おめでとうございます。

昨年の北海道祭典では広島のうちごえのみなさんには物心共に大変お世話になりました。あらためてお礼を申し上げます。私たちのお手本は、まさにその2年前に開催された広島祭典でした。コロナ禍の中、2年以上にもわたる困難な準備段階での広島のうちごえの皆さんのぶれない意思統一のレベル、オンラインの取り組みなど、新しいことへのチャレンジする気概、その取り組みや準備のとてもよく考えられた緻密な過程は、逐一僕らに勇気と希望と納得を与えてくれました。

手元に演奏会のチラシがあります。広島祭典で培った財産をしっかり継承し、かつ地元をはじめ全国の専門家とも一緒に音楽を創る、うたごえを創る、そういうプログラムがあふれています。つながる、広げる、という「運動」がそこに流れていることに大いに共感し、敬意を表します。

平和が脅かされています。終末時計は今年あらためて過去最短の90秒前にセットされました。ウクライナやパレスチナでの直接的な戦争への懸念に加え、近年は気候変動やAIへの懸念なども考慮されています。

「平和をうたって 70年 すべての生命が輝く明日へ」、引き続き平和をけん引する広島合唱団に期待し北海道からのエールとします。



北海道のうちごえ協議会 議長 高島 賢

祝 広島合唱団創立70周年！

2021年11月、邑南・大田・松江・安来の地域サークル主催の「平和のつどい」に、高田龍治氏、ナッパーズの方々をはじめ、広島合唱団には多大な支援と共演を頂き、翌12月1日に「島根うちごえ協議会」を立ち上げることができました。

思い起こせば、かつて広島では、高校生部落問題研究協議会、高校生平和ゼミナール、社会福祉法人「もみじ作業所」、小規模作業所「未来館」、そして5月3日開催の憲法ミュージカルは「うたごえ」にあふれ、その真ん中にはいつも広島合唱団の皆さんの明るく優しい笑顔と歌声がありました。

自由と平和と勇気を歌って70年！心からのお祝いを贈ります。同時に感謝申し上げます。



島根うちごえ協議会 議長 原 健二

広島合唱団と同じ年の国鉄広島ナッパーズより、記念演奏会を開催されるにあたり、エールをおくります。

私たちは職場のうちごえサークルとして、ローカル線廃止反対、国鉄分割民営化の闘いの中でその責任を果たしてきました。うたごえを武器に、たたかう労働者の志気を高め「南の果てから北の果てまで、鉄路続くところ赤旗が翻り、『うたごえ』が響きました。その「国鉄」出身の村中好穂さんや坪倉孝二さん、熊谷勇二さんが貴団の役職を務めて来られた歴史にみられる様に、私たちと広島合唱団は兄弟関係にある一方、広島合唱団「研究生制度」が行なわれていた時代には、少なくない仲間が、その中で愛を育み人生の伴侶を得たことも、絆の深まりをつくってきたのだと思います。

広島合唱団が、広島地域のセンター合唱団として「ヒロシマの願い」をうたごえにのせ、世界に発信する役割を握って離さず、今日まで精力的に活動されてきたことを誇りとして、次代に引き継がれることを願います。そして、うたごえを通じて平和と命を愛し、励まし続ける広島合唱団の益々のご活躍を祈念します。今年9月21日、22日に東区民文化センターで開催する「広島のうちごえ祭典&国鉄のうちごえ祭典」も共に成功させましょう。



国鉄広島ナッパーズ 団長 佐々木 隆一

出演者Profile

■ 三多摩青年合唱団

1963年創立。多摩地域でうたごえ運動の一翼を担い様々な演奏活動を展開している。

1978年より音楽会の名称を「あめあがりコンサート」とし現在に至る。近年では新作委嘱に意欲的に取り組み、2005年に竹内浩三詩、寺嶋陸也曲の組曲「ふるさとの風に」（2010年の「骨の歌う」を加え完結）を、2006年には谷川俊太郎詩、松下耕曲の組曲「信じる」を、それぞれ作曲家を招いて委嘱初演する。2011年、栗山文昭氏と栗友会合唱団を招き開催したコンサート以来、東日本大震災復興支援コンサートとして取り組む一方、岩手県宮古市や福島県いわき市を訪問し、仮設住宅でのうたう会や平和のつどいでの演奏などを行っている。2014年、団創立50周年記念音楽会を震災復興支援コンサートとして開催し、谷川俊太郎詩、信長貴富曲の6つのソング「フクフク」を客演指揮に赤坂有紀氏、演出にしままなぶ氏を招き委嘱初演し好評を博し、新たなスタートを切った。



■ 赤坂 有紀（指揮者）

宇都宮大学教育学部音楽科卒業、同大学院教育学研究科修了。声楽を石野健二氏、大島博氏に、指揮法を高階正光氏、今村能氏、森垣桂一氏に師事。1995年にはWorld Youth Choirメンバーに選出されカナダでのツアーに参加。現在は栗山文昭氏音楽監督・栗友会(りつゆうかい)に所属しながら、合唱指揮者、ソロ・合唱歌手、ヴォイス・アンサンブルトレーナーとして多岐にわたり活動している。2008年Tokyo Cantat第1回「若い指揮者のための合唱指揮コンクール」にて第1位、ならびにノルウェー大使館奨学金を受賞。JCDA日本合唱指揮者協会会員。一般社団法人「音楽樹」会員。



■ 峯崎 道子（ピアニスト）

国立音楽大学音楽学部器楽学科(ピアノ専攻)卒業。ピアノを有賀恵、助川陽子、伴奏法を金井信の各氏に師事。在学中、第11回ピアノ教育連盟オーディションにおいて奨励賞受賞。卒業後、大学院歌曲クラスや様々なコンクールにて伴奏ピアニストを務める。現在、声楽、合唱の伴奏やピアノ指導等幅広く活動している。

三多摩青年合唱団メンバー

ソプラノ

浅川 薫 石関 睦美 泉 和代子 今井 育子 上村 明子 川木 雅樹 河村 光子 楠木 規子
高杉 敏江 箱崎 陽子 林 真由美 峯崎 りみ 結城 香澄

アルト

北山 幸子 小林 昭子 坂本 尚子 高杉 敦子 竹澤 まみ 中村 孝枝 中村 緑 三浦 鈴子

テノール

今井 和之 木村 洋 倉本 至 須藤 久 高杉 昌雄 東深沢 茂

バス

小林 信一 小林 康弘 箱崎 作次 深堀 慶一 結城 朝三

出演者Profile

■ 広島センチュリー管弦楽団

1979年ヴァリユウ室内合奏団として発足。その後 新広島フィルハーモニーと改称。その間、定期的な演奏会や学校公演の他、オペラやレクイエムコンサートをはじめとした多様な演奏活動を展開する。

1995年に団の体制を一新、更なるレベルアップを図る。それに伴い現在の広島センチュリー管弦楽団となる。原爆犠牲者慰霊コンサートの草分けであるレクイエムインヒロシマでは毎回音楽で祈りを捧げ、またオペラやバレエなどの舞台作品には特に力を入れ、広島オペラアンサンブルの他、中国バレエフェスティバル、森下洋子の松山バレエ、熊川哲也 K.カンパニーなどの公演の演奏も手掛ける。特に2002年の「ラ ボエーム」の公演では、ヨーロッパから招聘した指揮者から、このオーケストラのクオリティーの高さや音色の美しさを絶賛される。

広島を居とするプロオーケストラ（独立採算制）として これからも広島を愛し、市民の皆様にも夢や、心に触れる芸術をお届けするべく活動を続けたい。



■ 齊城 英樹（指揮者）



オペラ、コンサート指揮者として国内外で活動している。オペラではルーマニア国立ヤシ歌劇場においてモーツァルト「フィガロの結婚」で成功を収め、以来10年間客演指揮者を務め、イタリアオペラを中心に数多くの作品を指揮する。

古典から現代まで幅広いジャンルのレパートリーを持ち、オペラ指揮者として国内においても大きな存在感を放っている。声楽を伴う作品の指揮には定評があり、日本人のみならず、ヨーロッパの歌手達からも信頼が厚い。コンサート指揮者としては、オラデア交響楽団、ボトシャニ・フィルハーモニー、モルドヴァ・フィルハーモニー等を指揮し、シヨスタコーヴィッチ、プロコフィエフではとりわけ高評価を得る。レクイエムインヒロシマでは、1987年の発足以来 あらゆる時代のレクイエムを指揮し、長年に渡り原爆犠牲者の鎮魂と平和を願い、祈り続けてきた。広島オペラアンサンブル及び広島センチュリー管弦楽団音楽監督・指揮者。

■ 広島センチュリー管弦楽団弦楽合奏メンバー

◇ トランペット	住吉 修三 住吉 真佳
◇ トロンボーン	福原 恭平 光成 麻穂 蔵田 めぐみ
◇ ヴァイオリン 1	上野 眞樹 星野 いずみ 郭 淑美 大田 響子 加藤 稚佳子 余島 英子
◇ ヴァイオリン 2	後藤 明子 今井 千晶 金原ソフィ絢子 浜下 杏子
◇ ビオラ	増田 喜代 藤井 雅枝 川岡 加奈
◇ チェロ	吉田 正子 宮本 隆一
◇ コントラバス	田中 由加

出演者Profile

■ 西岡 茂樹 (指揮者)



1955年兵庫県生まれ。合唱指揮を田中信昭、須賀敬一の両氏に師事。指揮活動は多岐に亘るが、その最大の関心は『世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造』にあり、現代日本の作家の意欲的な作品を、委嘱初演を含めて、とりあげ続けている。

萩京子氏との共働は長く「みるく世がやゆら」をはじめ、数多くの曲を指揮している。

現在、豊中混声合唱団、豊中少年少女合唱団、女声合唱団あい(山口県)、女声合唱 Stella(兵庫県)等の指揮者を務める他、客演指揮、各種合唱コンクールの審査、合唱講習会の講師としても活動している。関西合唱連盟理事、大阪府合唱連盟副理事長、「音楽樹」会員、日本合唱指揮者協会会員、奈良学園大学名誉教授。

■ 萩 京子 (ピアニスト)



オペラシアターこんにゃく座代表、音楽監督。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。1979年より、座付ピアニスト兼座付作曲家としてこんにゃく座に入座。1997年より音楽監督に、2004年から代表を務める。主なオペラ作品は、「金色夜叉」「にぎりえ」「ゴーゴリのハナ」「アルレッキーノ」「ピノッキオ」「口は口ボットの口」「まげもん」「あぐりとててて」「夏の夜の夢～大正浪漫編」など。合唱曲、劇音楽、古今東西の詩人の詩によるソング多数。

■ 内田 陽一郎 (指揮者)



東京藝術大学音楽学部声楽学科卒業後、東京音楽大学専任講師を勤め 1971～77年までイタリア留学。77年国立ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院声楽専攻科修了。帰国後、下関女子短期大学を経てエリザベト音楽大学に勤務する傍ら、広島大学教育学部、島根大学教育学部、広島市立大学国際学部イタリア語非常勤講師などを歴任。創作オペラ「はだしのゲン」の初演でゲンを演じた他、多数のオペラの主役も務める。現在、エリザベト音楽大学名誉教授、広島県合唱連盟顧問などに就き、指揮者の他、声楽教室アミーチ・デル・カントも主宰。

■ 小川 秀樹 (指揮者)



東京音楽大学器楽科卒業後、同大学付属高等学校に勤務し、その後東京音楽大学専任講師となる。1984年帰広、広島音楽高等学校に勤務するかたわら広島吹奏楽団常任指揮者として指揮および演奏活動。1995年全国植樹祭式典、1996年ひろしま国体開会式にて指揮者を務める。2000年まで広島大学学校教育学部講師として「吹奏楽講座」担当。元広島音楽高等学校校長、広島吹奏楽団終身名誉指揮者、広島アーティスト協会代表を務める。

■ 豊田 日乃 (ソプラノ ソロ)



エリザベト音楽大学演奏学科声楽専攻卒業。第6回尾道映画祭オープニングセレモニーにて声楽ソロとして弦楽四重奏と共演。広島中央合唱団スプリングコンサート2021の第二部にてメンデルスゾーン作曲『エリアス』のソプラノソリストとして出演。第22回大阪国際音楽コンクール(ファイナル)声楽部門オペラコースAge-U第1位および特別賞「高槻市長賞」受賞。第3回国際声楽コンクール東京・大学生部門本選にて第2位(1位空席)及びカフェトーク賞、ドレミ楽譜出版社賞、東京新聞社賞受賞。声楽を桂政子、内田陽一郎に師事。

出演者Profile

■ 高田 龍治 (指揮者)



1970年、国鉄に就職。1971年、国鉄広島ナッパーズ、広島合唱団に加わり、以後、指揮・作曲などを担当する。1980年、国鉄作曲グループの一員として組曲「俺たちのシルクロード」の制作に参加し全国上演の指揮を担当。障害者運動や平和運動に携わる中で、作曲を中心に数々のコンサート企画を手がける。

現在、広島合唱団など広島県内の複数の合唱団を指揮する傍らうたごえ喫茶のリーダーや伴奏も行っている。広島のうたごえ協議会会長。音楽センターひろしま代表。国鉄のうたごえ音楽監督。日本のうたごえ協議会常任委員。

■ 若本 真理子 (指揮者)



国立音楽大学教育音楽学科I類卒業。呉市立中学校にて音楽科教諭として勤務。現在、呉市立和庄小学校特別非常勤講師。広島合唱団、呉うたごえたんぼ、音戸ファミリーコーラスに所属している。

■ 田中 香月 (ピアニスト)



エリザベト音楽大学首席卒業。武蔵野音楽大学大学院、モスクワ音楽院大学院修了。エリザベト音楽大学博士(音楽)学位取得。PTNAピアノコンペティション、ブルガリア国際音楽コンクール MUSIC AND EARTH など、国内外のコンクールのデュオ部門で最高位受賞。廣澤久美子、横山幸雄、K. ガネフ、J. ガネヴァ、E. リヒテルの各氏に師事。

現在、エリザベト音楽大学、同大学付属音楽園、広島修道大学非常勤講師。広島大学客員准教授。広島合唱団伴奏者。

■ 前田 英 (アコーディオン)



国鉄岡山合唱団じれん及び日本のうたごえ全国男声合唱団アコーディオン奏者。国鉄広島ナッパーズの演奏会をはじめ広島のうたごえ祭典の伴奏者として数多く出演している。

■ 山上 茂典 (ギター)



世界文化遺産の宮島在住。「がみさん」と呼ばれているシンガーソング&ライター。中学時代にギターを始め、高校時代にフォークソングと出会い、フォークグループを結成、オリジナル曲を創作、うたい始める。仕事の歌、生活の歌、平和を愛する歌などを創作して演奏している。男声合唱団「国鉄広島ナッパーズ」に所属。イベントやフェスティバル、公民館、児童館、保育園、幼稚園、老人ホームなどでの演奏、うたごえ喫茶の伴奏スタッフとして活動中。

■ 丸子 ようこ (司会者)

フリーアナウンサー。NHK文化センター講師。NPO法人きぼう放課後デーサービス講師として、また日本公務員弘済会広島支部講師として県内の小学校に読み聞かせなど「言葉の授業」を行っている。春よりエリザベト音楽大学非常勤講師。



■ 青山 恵梨子 (司会者)

広島県広島市出身。桐朋学園芸術短期大学芸術科演劇専攻ミュージカルコース卒業。幼少の頃よりクラシックバレエ、ジャズダンスを学び、One Heart 子どもミュージカル in 呉に出演。わらび座ミュージカル『茶の夢～宗固さあと私～』にて主演、地球ゴージャス「The Love Bugs」「星の大地に降る涙 THE MUSICAL」、宮本亜門演出「狸御殿」、等出演。また2014年ポートレースCM(ポートニャーブルー)等の映像作品にも多数出演。現在フリーで俳優・振付師・講師として活動中。



Performer

◇ 共に生きる町合唱団、西岡茂樹氏と共に歌う合唱団のステージの出演者（広島合唱団を除く）

ソプラノ

阿波 明子 / 井上 智才 / 井上 信子 / 大江 ちか子 / 金澤 黎子 / 川本 咲枝
國弘 恵里子 / 串山 美奈子 / 榎原 実代子 / 己斐 富江 / 小嶋 かほる / 杉島 東子
関 八重子 / 高崎 きぬ子 / 田子 みゆき / 月長 千絵 / 津田 今子 / 寺上 恵子
中野 芙美子 / 西岡 恵子 / 西村 美子 / 日南田 睦子 / 藤田 美知子 / 松田 雅子
向井 久美子 / 山口 順子 / 湯川 枝利子 / 横田 美樹

アルト

石井 奈美 / 宇城 昌里子 / 大橋 京子 / 大畑 美枝子 / 神崎 文子 / 後藤 泉 / 坂本 敦子
迫田 瑞枝 / 田中 利子 / 坪倉 民子 / 道々 幸枝 / 野村 文子 / 春名 ともえ / 東 洋子
山田 優子 / 山本 菜穂子

テノール

栗栖 幸村 / 坂本 達也 / 柴坂 和彦 / 山内 弘志 / 山持 寛 / 山根 良則 / 湯川 哲史
森岡 徹之

バス

大野 正信 / 金子 秀典 / 栗栖 慎一 / 佐々木 一隆 / 辻 猛夫 / 南家 孝之 / 松尾 寿人
森木 昭博

上記の他、「三多摩青年合唱団」、「合唱団ぼっさり」の皆さん、中島小学校、吉島東小学校、南観音小学校、舟入小学校、府中南小学校、大州中学校の生徒さん、広島合唱団元団員にもこのステージに加わっていただきます。

◇ 広島合唱団

ソプラノ

井田 恵美 / 井上 紀子 / 岩井 三智子 / 木下 千重美 / 小林 貴子 / 隅広 智子 / 寺本 美和子
西本 久美 / 花高 和子 / 三好 かずみ / 守川 洋子 / 山岡 靖子 / 若本 真理子

アルト

緒方 久美子 / 木村 美幸 / 城西 愛子 / 中田 征子 / 西川 芳枝 / 三宅 徳子 / 山廣 成美
吉田 真理子

テノール

伊藤 雅則 / 緒方 一夫 / 佐古 康嘉 / 中野 勝 / 平井 充晴

バス

秋本 望 / 植木 俊郎 / 熊谷 勇二 / 小林 雅通 / 堀田 孝彦

総合演出：加島 裕美



エリザベト音楽大学専攻科修了後ヨーロッパに留学。ルーマニア国立ヤシ歌劇場の「道化師（ネッダ役）」でヨーロッパの歌劇場の舞台に立つ。

広島オペラアンサンブルに所属しソリストとして活動する他、「ヘンゼルとグレーテル」「人魚姫（ルサルカ）」「アマールと夜の訪問者」「泥棒とオールドミス」他を演出。ヒロシマオペラ・音楽推進委員会主催 オペラ「ラ ボエーム」では中村敬一氏の演出助手を務める。日本・ルーマニア共同公演オペラ「散華 Buddha（I）」（尾上和彦/ルーマニア ヤシ歌劇場）ではソリスト、通訳の他、演出家 A. タバカル氏の助手として公演の成功に貢献する。呉合唱団フリューゲルコール及びアンサンブルいむろヴォイストレーナー。広島オペラアンサンブル理事。

司会：丸子ようこ / 青山恵梨子

■ オープニング

♪底力のタンゴ(混声4部) 作詞/今正秀 作曲/今正秀・たかだりゅうじ ピアノ編曲/堀井泉
指揮/高田龍治 ピアノ/田中香月 アコーディオン/前田英

■ 第1部

♪Forever Young 作詞・曲/ボブ・ディラン 日本語詞/アーサー・ピナード 編曲/服部安宏

♪翼を下さい(混声3部) 作詞/山上路夫 作曲/村井邦彦 編曲/小池ちひろ

指揮/若本真理子 ピアノ/田中香月

♪オホーツクの舟唄 作詞・曲/森繁久弥 編曲/高平つぐゆき

指揮/高田龍治 ピアノ/田中香月 アコーディオン/前田英

♪美らうた 作詞/いがらしのりこ 作曲/安広真理 編曲/小林康浩

♪空を海をいのちを 作詞/函館トロイカ合唱団 作曲/函館トロイカ合唱団・武義和 編曲/武義和

指揮/高田龍治 ピアノ/田中香月

♪墓標 詩/峠三吉 作曲/外山雄三

♪リメンバー 作詞/なかにし礼 作曲/鈴木キサブロー 編曲/金井信

指揮/高田龍治 ピアノ/田中香月

♪明日に架ける橋 作詞・曲/P・サイモン 日本語詞/今正秀 編曲/金井信

指揮/高田龍治 ピアノ/田中香月

◇広島合唱団団長あいさつ

■ 第2部

<ゲスト I >

三多摩青年合唱団

指揮/赤坂有紀 ピアノ/峯崎道子

♪自由の木

原詩/パブロ・ネルーダ 日本語詞/大島博光 作曲/林光

合唱組曲「空に小鳥がいなくなった日」より

♪私が歌う理由

作詩/谷川俊太郎 作曲/外山雄三

♪空に小鳥がいなくなった日

作詩/谷川俊太郎 作曲/外山雄三

♪一本の木

作詩/紫野京子 作曲/寺嶋陸也

▶ 休 憩 ◀

<ゲスト II>

広島センチュリー管弦楽団 指揮/齊城 英樹

♪弦楽のための三楽章 トリプティーク
作曲/芥川 也寸志

♪合唱(共に生きる町合唱団)とブラス・和太鼓合同による「生命の詩」
作詞/今福 優 作曲/山崎 秀雄 編曲/三浦 秀秋
指揮/小川 秀樹 ブラス/広島センチュリー管弦楽団 和太鼓/大野 正信 大野寿美子

▶ 休 憩 ◀

■ 第3部

広島のうたごえ協議会の皆さんとの合同ステージ

指揮/高田 龍治 ピアノ/田中 香月 ギター/山上 茂典 アコーディオン/前田 英

♪俺たちのシルクロード 作詞/荒井 良夫 作曲/たかだりゅうじ 編曲/青山 義久

♪人間の歌 作詞・作曲/山ノ木 竹志 編曲/小林 康浩

70周年特別企画 100人の合唱

広島合唱団 / 共に生きる町合唱団 / 三多摩青年合唱団 / 西岡茂樹氏と共に歌う合唱団
合唱団ぽっきり / 小学生・中学生の皆さん / 広島合唱団元団員の皆さん

♪みるく世がやゆら 作詩/知念 捷(まさる) 作曲/萩 京子
指揮/西岡 茂樹 ピアノ/萩 京子

♪アメイジング・グレイス 黒人霊歌 日本語詞/山ノ木 竹志 編曲/池辺 晋一郎
指揮/赤坂 有紀 ピアノ/田中 香月 ソロ/豊田 日乃

♪広島 愛の川 作詩/中沢 啓治 作曲/山本 加津彦
指揮/内田 陽一郎 ピアノ/田中 香月 / センチュリー管弦楽団

■ フィナーレ 全員合唱

♪ねがい 作詞/広島市立大州中学校3年生(2002年)有志 編詞/山ノ木 竹志
作曲/たかだりゅうじ オケ編曲/日高 哲英 ピアノ編曲/三好 敬子
指揮/高田龍治 ピアノ/田中香月 / 広島センチュリー管弦楽団

Program Note

底力のタンゴ

年を重ねても、歌でみんなを励まし、声を挙げ続けているうたごえの先輩たち。そういう人を励ます歌がほしいねという声から生まれた曲です。おとろえない行動力はまさに底力！そして、気がつけば自分も老眼に…。自分事の歌にもなりました。(今 正秀)

Forever Young ～はじまりの日～

シンガーソングライターであり、ノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランが、息子のすこやかな成長を願って 1974年に作詞・作曲した。2010年、この歌をアメリカ合衆国生まれで広島在住の詩人・随筆家のアーサー・ビナード氏が「始まりの日」と訳し、絵本(絵:ポール・ロジャース)として発表した。

翼をください

作詞家山上路夫、作曲家村井邦彦のゴールデンコンビによる代表作の一曲。歌声喫茶でもよく歌われる人気の曲であるが、今回の小池ちひろ氏の編曲は前半のバラード調から後半のサビの部分でロック調に変わっていた今までの編曲とは少し違って、「悲しみのない自由な空に翔んでいく」望みがゆったりと表現されている。

オホーツクの舟唄

1960年、森繁久彌氏が羅臼での映画「地の涯に生きるもの」撮影中、羅臼村民の有志との宴で即興で歌った「知床旅情」。その元歌である「オホーツクの舟唄」に、高平つぐゆき氏が厳しい自然と向き合いながら漁を営む番屋での姿を思い浮かべ編曲した。

美らうた

その年 12月23日読谷村は、暖かった。午後自転車ですとうきび畑の中を迷った。道を探ねた農家のおじさんに「真っ直ぐに行きなさいねえ」と言ってもらう。うちなぐちのそれは「真っ直ぐに生きなさいね」と聞こえた。今立っている赤い畑の土は、戦禍を知っている。葉を揺らす風の中に何度も「真っ直ぐに生きなさいねえ」が聞こえてきた。大地は伝えているのだ。戦争の苦しみと、今生きる人の尊さを。(いがらしのりこ)

空を海をいのちを

函館の対岸にある青森県下北半島大間町に世界初のフルモックス燃料を使用する大間原発が建設中。「大間原発建設をストップしたい！ 次の世代にこれ以上の負の遺産を残さない！ 歴史ある美しい街 函館を守りたい！」「福島を事故を繰り返してはいけない」このような思いから、函館トイカ合唱団が集団で創作した。原発を抱える日本各地で歌われている。

墓標

混声合唱のための組曲「そして一輪の花の他は」の中の1曲。詩は峠三吉の「原爆詩集」に収められている代表作のひとつ。原爆の犠牲となったヒロシマの子どもたちが、平和を築くために声をあげようと静かに訴える。繰り返し歌われる“斉美小学校”は、軍人の子どもたちが通っていた学校で、その跡地、中区八丁堀 YMCA の西南角に詩碑がある。

リメンバー

2019年に亡くなられた日本を代表するプリマドンナ佐藤しのぶ氏が、生涯初のオリジナル曲として 2013年に生み出した曲。チェルノブイリ原発事故の放射能被害に遭った子どもたちを励ます為、ベラルーシまで足を運ぶなど行動する音楽家であった。唯一の被爆国である日本人にしか表現できない反戦の思いを、自分が美しく歌える時に創りたいという強い信念で、親交があったなかにし礼氏に作詞を依頼した。作曲は全世界の応募の中から鈴木キサブロー氏による作品が選ばれた。この歌には手話が付き、佐藤しのぶ氏は手話と声で歌われた。

明日に架ける橋

岩谷時子さんの訳詞がよく知られています。とてもやさしく、美しい詞です。が、激流に横たえた我が身を渡って行ってほしいという強さを表現できたらと、思いきって書いてみました。うたごえこそ闇にともる灯りです。(今 正秀)

Program Note

◆三多摩青年合唱団のステージ

自由の木

チリの詩人パブロ・ネルーダの詩「解放者たち」(大島博光訳)の一節にもとづいている。解放に関わった有名無名の人々すべてが《自由の木》に実り、あるいは熟れて地に還っていった《種子》と考えられる。林光さんは1976年3月から8ヶ月間の毎週、三多摩青年合唱団の練習に通い続け、この「自由の木」や「告別」を含む7曲を作曲して下さり共に一つのコンサートを作りあげた。林さんが小脇に抱えて持ってくる楽譜を団員たちは、みんなわくわくしながら待っていた。

～ 合唱組曲「空に小鳥がいなくなった日」より ～

私が歌う理由

谷川俊太郎の詩に三善晃・林光・大中恩他も作曲している。

繰り返される仔猫・けやき・子ども・そしておとこ。

「仔猫」「けやき」と生あるものが悲惨な目にあって生命をうしなっていく…

「子ども」長崎の原爆で亡くなった弟を背負って「焼き場に立つ少年」の1枚の写真が目につかぶ。

そして「おとこ」戦争で命を亡くした兵士を想う。

様々な絶望感におそわれながら願わずにはいられない。私が歌う理由はここにある。

空に小鳥がいなくなった日

谷川俊太郎の詩に松下耕・信長貴富他も作曲している。

何度も警鐘を鳴らされながらも 戦争や原発、様々な環境破壊に目をつむり 人は自分を失っていく。何も知らずに道路や港や公園を作り続け 心のどこかで大変なことが起っていると気が付きながらも すべてを未来に後回しにして流されている。そして未来をも信じ続けなおも歌い続けている。

そんな未来が来ないことを祈るばかりですが 自分の心にもグサリとくる詩です。

一本の木

うたごえ創立75周年記念6人の音楽家による委嘱オムニバス作品集『スタートライン』からの一曲。作曲の寺嶋陸也さんは75年のうたごえ運動を「一本の木」に重ねる。ピアノのめくるめく音の動きに、風の音、木の幹に蓄えられた水の音が聞こえる。すっと立つ一本の木が根を伸ばし、天に向かい、いつか爛漫の花が咲き乱れる世の中になりますようにと願いつつ…。

◆広島センチュリー管弦楽団のステージ

弦楽のための三楽章 トリプティーク 作曲:芥川 也寸志(1925～1989)

トリプティークとは三連画を意味しますが、トリプティークで一般的に通っています。

急、緩、急の全体の構成で芥川の独特なリズムと美しいメロディーが一体となった作品で世界中で演奏されています。

1) 全合奏で主題が奏されヴァイオリンソロが出たり叙情的なメロディーが表れたりしながら力強く終る。

2) 芥川の娘のために書かれた5拍子の子守歌。

3) 祭囃子の太鼓のような変拍子の主題、おどけた3拍子の第2主題。近所の神社から聞こえてきた御神楽から発想を得たと芥川は語っています。

生命の詩 ～We live here～

もともとは今福優さんの「何より次代を担う子どもたちに今を一生懸命に輝いて生きて欲しい」というメッセージが込められた和太鼓の楽曲である。

「被爆60年2005日本のうたごえ祭典 in ひろしま」では、今福優氏率いる150余人の太鼓で演奏され、参加者一人一人の生命の輝きとヒロシマの願いがひとつに束ねられたステージになった。

その後、この曲は、多くの人たちの思いを繋ぎ共感を得て、ここ広島でも数々の場面で演奏されてきた。特に広島に根付いていった。そもそもの由来は、もみじ作業所と今福優さんとの出会いに始まる。そこから障害をもった人たちの間にも広がり、2005年から始まった「障害者と広響とのジョイントコンサート マーガレットコンサート」でも、被爆70年の2015年に広響とのジョイントでその演奏が実現した。

「2021日本のうたごえ祭典 in ひろしま」では、和太鼓、金管五重奏、ピアノに80人の合唱が付いてバージョンアップして演奏された。生命の循環、生命の讃歌、輝いて生きようのメッセージを大きなスケールで発信した。

Program Note

俺たちのシルクロード

国鉄のうたごえ全国協議会が制作したローカル線廃止反対をテーマにした組曲「俺たちのシルクロード」(全14曲)のタイトル曲。国鉄詩人連盟の荒井良夫(北海道深川車掌区)氏の組詩に、国鉄作曲グループの高田龍治が曲をつけた。1981年8月10日、東京九段会館で開催された「ローカル線廃止反対全国キャラバン」集会で初演ののち、全国各地の廃止反対運動と連帯して広がり、学校の教科書にも掲載された。鉄道は単なる移動手段ではなく、人々の暮らしや文化を運び続ける国民の共有財産だという想いが込められている。

人間の歌

1987年4月、国鉄分割民営化が強行されJRになった。その際、労働者、労働組合に激しい攻撃が加えられ、民営化に反対する者への差別・人権侵害、雇用不安などで100人を超える国鉄職員が自ら命を絶った。山ノ木竹志は、「死を拵んだ組合員」の一人ひとりに家族があり、かけがえのない人生があったことに思いを馳せ、この歌をつくった。その後この歌は、時代に押され「生きて生きて 生き抜いて」と人間らしく生きることへのエールとなり、闘っている人々を励ましてきた。

みるく世がやゆら

沖縄のことは「今は平和でしょうか?」という意味を持つことばをタイトルとするこの詩は、2015年6月23日の沖縄全戦没者追悼式で、詩を書いた知念捷さんご本人の朗読によって発表されました。知念さんは当時17歳、高校3年生でした。(中略)

私はこの詩のスケールの大きさに驚かされました。沖縄という場所、今という時代、そこに生きる自分、歴史的な時間、今日の世界全体を見据えようとする若々しい視線を感じます。それは決して観念的ではなく、身近なもの、家族への思い、沖縄の自然、草や風、また頭上を飛ぶ戦闘機、それらを声高にではなく、淡々と描写することで、沖縄で生きることの実感を私たちに伝えます。「気が重い」と17歳の心がつぶやくとき、私たちは静かな永続的な怒りと悲しみを忘れてはいけなそうと思わずにはいられませんが、私は、沖縄の自然、沖縄の音楽や芸能の魅力に心惹かれます。その一方で沖縄戦の悲惨さ、戦後、負の部分すべてを沖縄に押しつけてきた日本という国について、やりきれない思いを抱きます。その引き裂かれるような感情は、この「みるく世がやゆら」を作曲することで、「忘れてはいけない」「あきらめない」という思いに結びついていきました。(中略)……そして、一時沖縄に思いを馳せ、今この時代はどういう時代なのか、考えるきっかけになったとしたら、とてもうれしいです。(萩 京子)

アメイジング・グレイス

黒人霊歌として広く知られる「アメイジング・グレイス」に山ノ木竹志が日本語詞を書き、池辺晋一郎氏が編曲。1995年、広島で開催した「日本のうたごえ祭典被爆50年ピースウェーブコンサート in ひろしま」で池辺晋一郎氏の指揮、800人の大合唱で初演された。その後「リパブリック讃歌」「ディープ・リヴァー」が加わり、「Great Journey 心／叫び／歌 3つの混声合唱曲」として出版された。

広島 愛の川

はだしのゲンの作者中沢啓治さんは、晩年、一つの詩を書き遺しました。入院中、病院近くの平和記念公園を散歩しながら、じっと川を眺めていたそうです。「はだしのゲン」では、地獄の様な場面で描かれていた広島川。見るのも辛かったことかと思えます。でも、この詩で、中沢さんはその川を「愛の川」と表現しています。「怒り」「悲しみ」を背負うのは、もう自分たちの時代だけで十分だ。次の世代には、「優しさ」を残してあげたい。最後まで、平和を願った中沢さんの思いが伝わってきます。(広島愛の川プロジェクト HP より)

被爆70年の2015年に、作曲者山本加津彦氏を中心とした「広島愛の川プロジェクト」が始まり、毎年8月6日、原爆ドーム対岸で行われる“とうろう流し”会場で、大勢の子どもたちに大人も加わり歌われている。

ねがい

2002年、広島市立大州中学校と広島合唱団の交流の中から生まれた。生徒が3年間の平和学習のまとめとして書いた平和宣言をもとに山ノ木竹志が詞を編み、たかだりゅうじが作曲。神戸の中学校教師長田寿和子さんは「ねがい」を英訳し、インターネットで発信した。その後「世界・平和・架け橋・夢・地球・和解」をテーマに「ねがいコネクション」プロジェクトが立ち上がり、「ねがい」5番以降の歌詞づくりを世界に発信したところ、インターネットの波に乗って広がり、2000番を超える歌詞が紡がれた。「世界で一番長い歌」としてギネスブックに登録され、テレビでも度々紹介された。

今、大州中学校では、新しい伝統をつくらうと、夏の平和学習で「今年の5番」をつくる取り組みが行われている。

みるく世がやゆら

知念捷

平和を願った 古の琉球人が詠んだ琉歌が 私へ訴える

「戦世や済まちは みるく世ややがて 嘆くなよ臣下 命ど宝」

七十年前のあの日と同じように

今年もまたセミの鳴き声が梅雨の終わりを告げる

七十年目の慰霊の日

大地の恵みを受け 大きく育ったクワデイスアーの木々の間を

夏至南風の 湿った潮風が吹き抜ける

セミの声は微かに 風の中へと消えてゆく

クワデイスアーの木々に触れ せみの声に耳を澄ます

みるく世がやゆら

「今は平和でしょうか」と 私は風に問う

花を愛し 踊りを愛し 私を孫のように愛してくれた 祖父の姉

戦後七十年 再婚をせず戦争未亡人として生き抜いた 祖父の姉

九十才を超え 彼女の体は折れ曲がり ベッドへと横臥する

一九四五年 沖縄戦 彼女は愛する夫を失った

一人 妻と乳飲み子を残り 二十二才の若い死

南部の戦跡へと 礎へと

夫の足跡を 夫のぬくもりを 求め探しまわった

彼女のもとには 戦死を報せる紙一枚

亀甲墓に納められた骨壺には 彼女が拾った小さな石

戦後七十年を前にして 彼女は認知症を患った

愛する夫のことを 若い夫婦の幸せを奪った あの戦争を

すべての記憶が 漆黒の闇へと消えゆくのを前にして 彼女は歌う

愛する夫と戦争の記憶を呼び止めるかのように

あなたが笑ってお戻りになられることをお待ちしていますと

軍人節の歌に込め 何十回 何百回と

次第に途切れ途切れになる 彼女の歌声

無慈悲にも自然の摂理は 彼女の記憶を風の中へと消してゆく

七十年の時を経て 彼女の哀しみが 刻まれた頬を涙がつたう

蒼天に飛び立つ鳩を 平和の象徴というのなら

彼女が戦争の惨めさと 戦争の風化の現状を 私へ物語る

みるく世がやゆら

彼女の夫の名が 二十四万もの犠牲者の名が

刻まれた礎に 私は問う

みるく世がやゆら

頭上を飛び交う戦闘機 クワデイスアーの葉のたゆたい

六月二十三日の世界に 私は問う

みるく世がやゆら

戦争の恐ろしさを知らぬ私に 私は問う

気が重い 一層 戦争のことは風に流してしまいたい

しかし忘れてはならぬ 彼女の記憶を 戦争の惨めさを

伝えねばならぬ 彼女の哀しさを 平和の尊さを

みるく世がやゆら

せみや 大きく鳴け 思うがままに

クワデイスアーよ 大きく育て 燦爛と注ぐ光を浴びて

古のあの琉歌よ 時を超え今世界中を駆け巡れ

今が平和でこれからも平和であり続けるために

みるく世がやゆら

潮風に吹かれ 私は彼女の記憶を心に留める

みるく世の素晴らしさを 未来へと つなぐ



戦後まもない1948年、声楽家関鑑子と数十人の若者によって中央合唱団が結成され、うたごえ運動は始まりました。そして全国にサークルや合唱団を次々誕生させました。広島に派遣されてきたのは弱冠19歳の奈良恒子さん(後に柴田泰子さんにバトンタッチ)、国鉄の各職場や組合事務所、青年の集会、病院等へ彼女たちは青年歌集を手につたごえの種を蒔いて歩きました。

1954年3月、ビキニ環礁で第五福竜丸が被曝し、6月には「原爆を許すまじ」が創られました。その年のメーデー前夜祭に集った職場合同合唱団の中から60名余が残って「ひろしま合唱団」が産声を上げ、同年12月第1回総会で綱領を決定し、正式名称を「広島合唱団」としました。



ノーモアヒロシマ

「うたごえは平和の力」「うたは闘いとともに」の合言葉のもとに、春闘をたたかう職場や地域でのうたう会などの取り組みの一方で、第1回原水爆禁止世界大会(1955年)平和合唱交歓会に始まり、1956年には平和のための文化祭、1959年には西日本のうたごえ祭典、1961年の原爆犠牲者慰霊碑を舞台にしての構成詩「ひろしま」企画など、常に原水爆禁止運動の一環としてのうたごえ活動が大きな位置を占めました。

1980年代は「原爆犠牲者に捧げる音楽の夕べ」(第7回からは「ノーモアヒロシマコンサート」と改称)の企画に参加、出演し、音楽専門家たちとの協力共同の場を持つようになりました。

核兵器廃絶のためのコンサート

1985年、定期演奏会を新たに「核兵器廃絶のためのコンサート」と名付けて、ヒロシマからのメッセージを正面に据えて発信しました。核兵器廃絶の運動が全世界的で高揚した時期でもあり、多くの共感が寄せられて、昼夜2回のステージも複数回取り組み、運動の前進を実感しながら1994年まで続けました。



ピース・ウェーブ・コンサートそして・・・

1995年「日本のうたごえ祭典 被爆50年ピースウェーブコンサート in ひろしま」をサンプラザで開催し、5千人の参加者で大成功させました。全国合同合唱曲「アメイジング グレイス(山ノ木竹志日本語詞/池辺晋一郎編曲)」が800名で初演されました。以後、ピースウェーブコンサートは核兵器廃絶を訴えて2008年まで続けました。「被爆60年日本のうたごえ祭典 in ひろしま」を2005年11月、3日間にわたって開催し、参加者は延べ1万3千人、元安川親水テラスでは夜の野外コンサートも開きました。

また、2009年「山ノ木竹志とその仲間たちコンサート」、2010年「山ノ木竹志をうたうコンサート～今、歌わずにはいられない」は、団にとっては山ノ木竹志作品の継承を誓いあう場でした。

2012年3月11日「春をよぶコンサート」は、東日本大震災復興支援を目的に開催し、その後も支援の音楽活動を続けました。同年11月には「日本のうたごえ全国交流会 in 広島」が開催され、広島合唱団は、その企画・運営に大きな役割を担いました。



定期演奏会を開催して

2014年、創立60周年記念演奏会はアステールプラザ大ホールで「生命の木、空へ」をメインプログラムにして90人が舞台上に立ち演奏。広島のうたごえ協議会メンバー中心とする市民合唱団は、ピースウェーブ合唱団から「共に生きる町合唱団(以下「共まち合唱団」と表記)」の名で広島のうたごえ運動の支え手になっていきます。



この年広島は8月に豪雨土砂災害に見舞われ、10月は「広島のうたごえ&国鉄のうたごえ合同祭典」を大型19号台風直撃の中で開催。11月には東日本大震災の傷跡癒えない仙台市での「日本のうたごえ祭典 in 宮城」へ参加、原発事故被災地へのオプションツアーなど、災害と向き合う中で音楽の力、うたごえの力を改めて実感する年となりました。

2017年、定期演奏会のメインプログラム「こわしてはいけない・無言館をうたう」は、「共まち合唱団」70名で届けました。県民文化センターホールで2日連続公演に挑戦しました。

2019年、「創立65周年記念ふたつの音楽会～大いなる明日へ～」は1日に2回、内容の異なる音楽会、昼の部「山ノ木竹志をうたうコンサート」、夜の部「ピースコンサート」を開催しました。ピースコンサートでは関西合唱団との合同で合唱組曲「一滴のうた」を演奏。



2022年7月2日 国鉄広島ナッパーズ・広島合唱団「ジョイントコンサート白鳥のうた」では、創立が同年という「きょうだい」のような合唱団が創立初のジョイントコンサートに取り組みました。

2021 日本のうたごえ祭典 in ひろしま

「被爆75年 2021 日本のうたごえ祭典 in ひろしま」(以下ひろしま祭典と表記)は2018年から準備に入り、その企画の全体像も発表され全てが本格的に動き始めた矢先の2020年3月、新型コロナウイルス感染状況が悪化し、世界的なパンデミックが起きました。4月中旬、ひろしま祭典(11/23～25 予定)は1年延期という選択のやむなきに至りました。そして…

「2021日本のうたごえ祭典 in ひろしま」はコロナ禍のもと、広島諦めない頑張り、と全国のうたごえ仲間との連帯で、12月3日～5日、3年に及び取り組みを实らせて大成功させることができました。特徴的なことの一つは、被爆75年核兵器廃絶という平和のメッセージを前面に押し出した企画で、地元の音楽家たちの協力も得ながら全国の方々と共に作り上げたことです。もう一つは、オンラインツールを活用した取り組みへの挑戦です。不慣れなオンライン会議に始まり、「みんな元気が がんばろうフェスタ」では全国各地と繋がってのライブ&オンライン演奏会、練習会のオンライン配信、全国の仲間と交わすオンラインうたごえ会等々。集まること自体が困難だった時期に人をつなぎ全国をつなぎ、モチベーション保持の力となりました。コロナ禍の中での「2021日本のうたごえ祭典 in ひろしま」は、苦境の中にあっても、うたごえ運動の新しい道をきり拓き、気概と知恵を全国から集めて、大きな感動と今後の運動に繋がるたくさんの財産を遺すものとなりました。



広島合唱団の活動に、国際的な交流の機会が増えて

広島市が留学生会館で催す「ボルゴグラードの日」にはレギュラー団体として参加しています。その縁で2012年には「ボルゴグラード音楽の旅」が企画され11人が参加しました。広島市とボルゴグラード市が事前調整をして地元のシニアコーラスとの音楽交流の夕べが実現しました。2017年にはボルガクルーズ合唱交流の船旅が企画され同市を再訪しました。

ウクライナから難病治療のため広島日赤病院を頼って来日していたワーレリー青年を励ますチャリティーコンサートを日本ルーテル広島教会で開催しました(2013年12月30日)。群馬交響楽団の首席チェロ奏者、ピアニスト、トランペット奏者らロシア人演奏家たちからの協力を得て、国際色豊かなコンサートとなりました。



2015年・戦後70年には、以下のような公演に広島合唱団有志が参加しました。中国での旧日本軍の南京大虐殺をテーマにした「紫金草物語」公演(台北・台南)、撫順戦犯管理署に収容された旧日本兵の精神的復活を描いた「再生の大地」公演(撫順・北京)、中国人、朝鮮人らを生体実験したハルピンの731部隊を告発した「悪魔の飽食」公演(ハルピン)。その「悪魔の飽食」は、2018年にもバルト3国での公演に250人の合唱団(広島13人)で参加しました。

サム・トゥツ・ソリ広島公演(韓国民族音楽人協会所属)2016年4月(アステールプラザ)／2018年4月(西区民文化センター昼夜2回) 日本と韓国の平和と民主主義を守る闘いのうたごえによる市民交流の意味をもつ取り組みでした。

井上鑑氏が主宰する「鳥のうた連歌プロジェクト」の呼びかけで、2018年6月「鳥のうた平和コンサート」スペイン公演に参加。ゲルニカとカザルスの生誕地ヴェンドレルで高田龍治指揮、井上鑑ピアノ、全国から集まった歌手36人(広島6人)で2回のコンサートを行ないました。

2023年9月、ユースツアー主催の「広島一セミパラチンスク音楽交流の旅」には高田龍治が音楽監督、田中香月がピアニストとして招かれ、歌手は広島の3名を含め、大阪、東京から総勢22名が参加しました。

創作曲・出版物

この間、村中好穂(故人)、新江義雄(山ノ木竹志・故人)、高田龍治、熊谷勇二らによって多くの創作曲が生み出され、「ちちをかえせははをかえせ」「俺たちのシルクロード」「人間の歌」「グレートジャーニー」等は全国で歌われ、「ねがい」は世界にひろがっています。また、緒方一夫をはじめ新しい創り手も育ってきています。

2005年、団創立50周年記念CD「ねがい」、2010年、山ノ木竹志作品を集大成したCDブック「歌わずにはいられない」、2011年、広島合唱団演奏会CD「呼びこもう春を」、2015年、被爆70年記念CD「平和をうたい継ぐ」等を発行しました。高田龍治の作品集としては、2002年に続き、本日より「たかだりゅうじ作品集」(全4冊)を、先行予約発売します。

★広島合唱団 HPのお知らせ★ <https://hiroshima-gassyodan.com/>



団員募集中 是非、私たちと歌いましょう！

練習日 毎週水曜・金曜(週一でも可)18時45分~20時45分

練習会場 中広会館 西区中広町1丁目18-27

問い合わせ先 TEL(082) 294-3981(広島合唱団)

Mail hiroutakyo@yahoo.co.jp



Facebook

◎特別協賛金

【県内】秋本 望/阿波 明子/石井 奈美/内田 陽一郎/大橋 京子/岡田 美佳//加島 裕美/神崎 文子/神原 肇/
日下 啓一/後藤 泉/坂田 恵子/佐古 康嘉/迫田 瑞枝/新中 三代子/杉島 東子/杉林 さと江/杉林 晴行/杉本
泰造/鈴岡 章子/高田 省吾/月長 千絵/坪倉 民子/寺本 和男/照峰 あや/西川 芳枝/西川 義雄/花高 和子/
平野 節子/本間 加瑞子/松井 昌重/三宅 克巳/三宅 栄/山下 京子/山田 寿美子/山田 雅昭/若本 郁子/若
本 正/若本 真理子【県外】下関市民合唱団/大塚 園子/神戸市役所センター合唱団

◎一般協賛金

【県内】赤木 和世/秋月 知恵子/安藤 明佳/池田 一卓/石川 明美/石島 榮子/磯野 真弓/井田 恵美/井手 隆
子/井出下 享子/伊藤 勉/伊藤 雅則/井上 紀子/岩井 三智子/岩本 民江/岩本 民江/岩本 典子/植木 京子/
植木 俊郎/上田 年乃/宇田川 久美子/大江 ちか子/大野 久子/大畑 美枝子/大平 俊子/緒方 一夫/緒方 久
美子/小方 澄子/岡田 博美/岡野 孝子/岡久 郁子/岡本 良子/岡本 忠巳/奥田 恵美子/小倉 啓子/忍岡 妙子
/尾下 美代子/小滝 正実/尾野 進/加島 裕美/片岡 路子/金澤 黎子/兼森 訓子/川野 美都子/川本 咲枝/嘉
屋重 順子/岸 泰弘/北川 眞美子/木下 千重美/木下 敏男/木村 憲文/木村 文朗/木村 美幸/木村 裕二/草
野 みどり/國貞 信枝/國弘 恵里子/久保井 実紀/熊谷 恵美子/熊谷 勇二/栗栖 歩美/栗本 康代/栗原 実代
子/小嶋 かほる/児玉 眞紀江/後藤 恭子/小西 寛之/小浜 昭子/小浜 一輝/小林 久美子/小林 雅通/古城門
健介/齊藤 久仁子/酒井 博文/坂江 敏枝/坂田 充代/坂本 敦子/坂本 憲治/坂本 達也/崎家 久美子/佐久間
美幸/佐々木 信江/佐々木 令子/定光 大燈/佐藤 香織/佐藤 正英/澤 由利子/重谷 久子/下西 芳枝/柴坂 和
彦/下藺 克子/城西 愛子/城 文美代/杉本 麗次/炭本 真理子/隅広 智子/関元 生人/十川 美栄子/高崎 きぬ
子/高田 慶子/高田 立江/高橋 修/高橋 弘文/高松 史子/竹西 由美/田中 香月/田中 澄子/田中 千鳥子/田
中 富範/田中 信義/都川 ともえ/坪浦 春男/寺上 豊晴/寺平 陽子/寺本 透/寺本 学/寺本 美里/寺本 美和
子/道々 幸枝/永井 廣美/中岡 美枝子/中田 征子/中野 勝/中野 斉子/中山 道/中司 京子/西尾 良子/西村
美子/西本 龍一/西本 久美/温品 美和子/野上 喜代子/橋本 玲子/秦 真世/浜名 小夜子/平井 充晴/平松 智
恵子/深屋 進/福田 千絵/福田 美知子/福波 陽子/藤木 邦明/藤木 百合子/藤鬼 伸子/藤田 圭子/藤中 茂
/船橋 喜恵/古宮 直美/堀田 孝彦/本田 とも子/榎平 美那子/政岡 豊子/松田 雅子/三谷 光美/峯松 朋美/
三宅 敏明/三宅 徳子/宮崎 文隆/名井 十夜子/三好 かずみ/宗吉 邦夫/望月 みはる/森岡 徹之/森金 敬
彦/守川 洋子/森田 正時/山岡 靖子/八谷 徹志/山下 朝子/山口 順子/山口 俊三/山口 俊幸/山田 寿美子
/山田 優子/山田 良恵/山根 良則/山広 雄吉/山廣 成美/山本 梨津子/山本 菜穂子/山本 佳宏/横田 都美
江/吉岡 イツ子/吉岡 敏夫/吉田 真理子/和田 ちとせ/渡邊 和也/渡邊 知子/渡上 尚枝【県外】新井 静夫/
OH! 人生男声合唱団/木尾 早織/木尾 真人/小林 絹子/小林 舞/小林 正人/斎藤 善勝/佐々木 伸介/佐々
木 秀則/菅原 美枝子/菅原 三七男/仙台合唱団/立山 昭仁/寺澤 伸輔/日高 次男/山本 芳恵

演奏会スタッフ

- 舞台監督: 桑田 康徳
- 音楽監督: 高田 龍治
- 演出: 加島 裕美
- 音響・照明: (有)Vortex
- 舞台スタッフ: 久村 忍/佐々木 隆一/高橋 仁/田中 活/村上 雅春
- 写真記録: 木村 憲文
- ビデオ撮影: 上田 恭敬/渡 常男
- パンフレット制作協力: 佐々木 隆一/高橋 仁
- Special Thanks 「みるく世がやゆら」合唱指導: 縄 裕次郎/加島 裕美
ヴォイストレーナー: 青山 邦恵

<p>子どもや孫達に平和な日本を引き継ごう 国の責任で若い人も高齢者も安心できる年金制度を</p> <p>全日本年金者組合 広島県本部</p>	<p>民商は あなたの経営を しっかりサポートします</p> <p>広島民主商工会 広島市中区八丁堀2番3号 TEL 082-221-0613 FAX 082-222-5629</p>
<p>日本国民救援会広島県本部 〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24-202 TEL 082-261-9959</p>	<p>教え子を再び戦場に送らない！ 全広島教職員組合 (略称:全教広島) 〒732-0052 広島市東区光町 2-9-1 5 TEL082-264-7850 FAX082-261-1912</p>
<p>憲法が生かせる政治を！ ヒロシマ革新懇 平和・民主・革新の日本をめざす広島の会 広島市中区大手町4-2-27 ☎245-2501</p>	<p> 広島市職員労働組合 「核兵器のない平和で公正な世界」を 被爆地ヒロシマから発信しよう！</p>
<p>福祉制度の充実をめざして ともにがんばりましょう!!</p> <p>ひかり協会職員労働組合 中国支部 広島分会</p>	<p>「ひとりの仕方ない」から「みんなで変える」 憲法変えるな、政治を変えよう!</p> <p> 広島県労働組合総連合 議長 神部 泰 〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24-205 TEL 082-262-1550 FAX 082-261-5059</p>
<p>住民・職員の いのちとくらしを守る</p> <p> 広島県自治体 労働組合総連合 執行委員長 平松 ゆう子 広島県広島市中区 大手町 4-2-27-405 TEL 082-243-9240 FAX 082-243-9241 E-mail hjrouren @urban.ne.jp</p>	<p>祝！広島合唱団創立 70 周年 医師・看護師、介護労働者の夜勤制限と 大幅増員へ 署名運動にご協力ください。 広島県医療労働組合連合会  http://hiro1600.cocolog-nifty.com/blog/</p>
<p>全労連・全国一般 広島合同労働組合 執行委員長 山岸 憲幸 〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24-303 TEL 082-568-5835 FAX 082-568-5845 Mail:rouso@hgoudou.com URL:https://hgoudou.com</p>	<p>いつでも、どこでも、誰もが安心して良い医療と福祉を 私たちはいのちの平等をめざします</p> <p> 広島民医連 広島県民主医療機関連合会 佐々木敏哉 〒734-0001 広島市南区出汐1丁目3-16 ☎082-569-7601 ✉hiro@hiro-min.com 全学年奨学生受付中！(医学科)随時実習・見学受付中！</p>
<p>祝 広島合唱団創立 70 周年 豊かな保育をすすめる会 中区大手町 5-16-18 広島保育センター</p>	<p>祝 広島合唱団創立 70 周年記念演奏会 広島駅北口から徒歩7分 平日なら 広島ロードビル 1時間 1,300円 貸会議室</p>
<p>知を力に! 広島県労働者学習協議会 〒730-0853 広島市中区堺町 1-2-9-202 TEL 082-231-6170 Fax 082-231-6140 Email:rougakul@urban.ne.jp</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 60名でソーシャルディスタンス確保 ● プロジェクター、ピアノ常設 ● 冷暖房完備、Wi-Fi環境あり <p>お申込み 広島市東区光町2丁目9-24 4F 問い合わせ 電話(082)264-1771 Fax 264-1772</p>

「核兵器禁止条約」に日本政府も参加を！

原水爆禁止広島県協議会

☎732-0052 広島市東区光町2丁目9-24-202
TEL 082-568-5530 e-mail gen86@kyodo-supprt.com

核兵器禁止条約の発効を

広島県原爆被害者団体協議会

理事長 佐久間邦彦
730-0853 広島市中区堺町 1-2-9-203
Tel 082-296-0040 Fax 082-503-2755

X(旧 Twitter) アカウント

@hiroshimavote

憲法 25 条で保障される生存権にもとづく
社会保障の充実を求めて



ひろしま医療人・九条の会

祝 広島合唱団 創立70周年記念演奏会



応援しています あなたの人生 うたごえとともに

平和宝石40周年 特別な日のための記念展示会
皆様のお店として成長してまいりました～がんばる私にご褒美を～

4/19(金) 20(土) 21(日)

広島市中区大手町1-1-26 TEL082-577-6664(代)
メルパルク真向い、レンガ色のビル5階です

やめがあふれる。いつもそばにほかまがいて…



社会福祉法人 もみじ福祉会

〒730-0823
広島市中区吉島西2丁目1-24
☎082-243-0331
info@fukushi-momiji.or.jp



あなたの心に旅という贈り物

HOTEL SEJOUR FUJITA ビジネスホテル&ウィクリー
セジュール フジタ
広島市中区舟入町1番10号
TEL: (082)296-6511

広島合唱団創立70周年 おめでとうございます

おかげさまで創立50周年 TEL:082-872-1727
新協建設工業(株)広島営業所

女性平和基金 25 周年
美と平和へのかけはし

広島県レイラ友の会

電話(090)5693-7152 岸本

婦人民主クラブ 広島支部

婦民新聞を読んで一層輝くあなたに

あなたのくらしのパートナー

広島法律事務所

電話 082-228-2458
FAX 082-227-8431

祝♪ 広島合唱団創立70周年☆記念演奏会♪
～ 平和を歌って70周年
すべての生命が輝く明日～

☎737-0042 広島県呉市和庄町19-3
音楽センターひろしま呉出張所販売事業部内
☎0823-21-8813 七条正継
※ 電話受付時間 19:30～22:00
音楽センターひろしま&ひろしまうた協主催等各種イベント
チケット 異地域取扱所

石口法律事務所

弁護士 石口 俊一
弁護士 和田森 智
弁護士 真鍋 俊枝

創立70周年をお祝い
申し上げます

広島マスコミ九条の会

クマの棲む豊かな森を次世代へ

日本熊森協会 広島県支部

<https://kumamori.org> TEL 090-4810-3059
(三好)

賀茂鶴



KAMOTSURU SAKE BREWING CO.,LTD.

賀茂鶴酒造株式会社

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町 4-31 お問合せは ☎0120-422-212 こちらまで

巴屋清信

〒730-0847 広島市中区舟入南4丁目4番16号
TEL (082) 293-3171 (代) FAX (082) 293-3172

中華そばの 陽気

UMAICHI 入川食堂

〒731-5127
広島市佐伯区五日市 2-6-3
TEL:082-921-0355
定休日：毎週月曜日 / 第3日曜日
営業時間：17:00 ~ 24:00 [L.O.23:30]

広島かきの山 広水産

広島市中区江波南1丁目21-23
TEL082(231)9723 FAX082(231)3192



旅行・物販・イベント企画

お得な大山ハム取扱
イワミ旅行・(株) 呉バス

東広島市高屋町高屋東1911-186 090-6406-0047



フラワーギフト(全国発送可)

Raffia

広島市中区堺町1-5-22
Tel 082-296-1187

映画上映会 4/29(月・祝)

高野豆腐店の春

会場：ウッドワンさくらびあ 大ホール

お問合せ/シネマキャラバン V.A.G
TEL (082) 285-8165



©2023「高野豆腐店の春」製作委員会

広島県文化団体連絡協議会

〒731-0123
広島市安佐南区古市1丁目38-27 青木ビル2F
☎ 082(877)4423

この日、この地で、この人々と

劇団月曜会

創立65年 2024次期公演 宮澤賢治朗読詩劇/野の涯

演劇鑑賞運動で心豊かな人生を!

広島市民劇場

広島市中区本川町2丁目1-9 4階
TEL 082-218-3219

「教え子を
再び戦場に送らない」



広島市退職婦人教職員会 TFコーラス

祝 広島合唱団創立70周年

No WAR!!

No more Hiroshima
No more Nagasaki
No more Hukushima
No more Hibakusya

カバズ

国鉄広島

いのちとくらしを守る
広島中央保健生協
うたう会 青い空

第2水曜日13:30~15:30 いきいきプラザ

合唱団 エガンス

団員募集中

Tel. 090-7999-7447 (拜倉)

祝 広島合唱団創立70周年!

北海道合唱団

創立75周年記念定期演奏会
11月17日(日) かでるアスピックホール



祝 70 周年記念演奏会

合唱団国鉄北海道

団長 松村 宏

北海道のうたごえ協議会



北海道祭典では
広島合唱団の皆
さんにたくさん
応援いただきました。ありが
とうございました。

2023 Japan Utagoe Festival in Hokkaido
A PEACEFUL FUTURE
FROM THE SHINING EARTH

加盟団体一同

祝 創立 70 周年記念演奏会

♪これからもステキなうたごえを

函館トロイカ合唱団

合唱団事務所/函館市高盛町 22-7
ホームページ <https://hakotoro.net>

祝 70 周年記念演奏会

岩見沢 合唱団こぶし

団長 大徳 祐子

祝広島合唱団 70 周年演奏会
~仙台の地から応援しています~



祝 広島合唱団70周年



三多摩青年合唱団

60 周年記念コンサート

2024 年 10 月 26 日パルテノン多摩

info@sansei1963.net



広島合唱団創立 70 周年おめでとう!

Heartful Harmony 埼玉合唱団

TEL/FAX 048-883-1634 peacesaiuta@gmail.com

うたごえイフ ☎090-6403-9183 佐々木

うたごえ喫茶 第3日曜日 13:30~

三次教会 (三次市十日市中3丁目 14-5)

参加費 1200 円 (ドリンク、スイーツつき)

コーラスレッスン 第1第3水曜日 19:30

生涯学習センター3F 交流ホール



第1・3木曜日 佐東公民館



うたごえ♡
たんぽぽ♡
いっしょに歌いませんか♡

子どもたちに青い地球と平和な未来を

生協ひろしま

♪虹のコーラス♪

ファミリーコーラス ♪音戸で生まれ育った歌好きGR

♪♪混声合唱団♪

和太鼓のことなら、何でもご相談ください!

和太鼓でヒューマンネットワーク!

太鼓センターひろしま 大野 正信

〒731-5102 広島市佐伯区五日市町石内 1325-31

Tel&Fax (082)941-5090

われら!光!輝!高齢者



男声合唱団 ドンマイ

連絡先 090-4100-1505(鎌田)

たかだりゅうじ作品集



全国で愛唱されている
たかだりゅうじ作品
よりすぐりの5曲!

全曲合唱編曲ピアノ伴奏譜・解説コメントつき

《新版》 各 1,300円 + 税

全4冊まとめてお得セット価格 5,000円!



第1集 〈平和〉 ねがい

ねがい
約束のうた
ウクライナに平和を
生存の叫び
あの歌を
凍える街に (男声合唱)
憶えています
朝顔
ヨシオ君に何があったん
ゆらり…沖縄の青い空
青空
風花

第3集 〈いのち〉 みっちゃんのえくぼ

みっちゃんのえくぼ
あなたの部屋
幕開けの歌
みどりの拍手〜ひとすじの道を照らして〜
雪の降る朝に
こころの窓をひらこう
希望の種を蒔きながら
四季の憲法
やがてくる日に - 憲法讃歌 -
俺たちのシルクロード (青山義久編曲)
初心のうた
哭く (なく)
底力のタンゴ (補作曲)



第2集 〈仲間〉 みんな元気か

みんな元気か
人として
こころひとつに
あなたと一緒に
語りだせば…
花火のうた どんとなア
俺たちのシルクロード
俺たちの歌
人間として労働者として
もしあなたに出逢ってなかったら
しあわせになるために
今、君と
明日はきっと

第4集 〈ふるさと〉 風の列車

風の列車
遠い汽笛が
機関車にのって
レールの音が聞こえますか
朝のしずく
明日
瀬戸田恋歌
街の灯
父の置き土産
いのちの海よ! 永遠に
地球のためのレクイエム
いぬふぐり
さくらそう
町

解説コメントより

俺たちのシルクロード 国鉄広島ナッパーズ 山上茂典

「西部劇の保安官が、馬に乗って悪党を追いかけるシーンのようじゃ」高田さんが、ナッパーズの練習日に「こんなのができたんじゃ」と言って歌った時の私の感想です。

第二次廃止対象路線が発表された1980年頃のことです。国鉄のうたごえが制作した赤字ローカル線廃止反対の組曲「俺たちのシルクロード」のタイトル曲です。この組曲を全国各地の廃止反対運動と連帯して演奏しました。全国各地の赤字ローカル線は、廃止され、廃止されようとしています。しかし、暮らしと文化を運ぶ現代のシルクロードがローカル線です。ずっと歌い続けたいといけぬ歌です。

風花 歌手 太田真季

私がソロで歌い初めて40年が経つ。その中で、際だって多く歌ってきた曲の一つに「風花」がある。

門倉氏の詩は、ヒロシマと長崎で一瞬に命を奪われた人たちへの鎮魂の心をうたっているが、たかだ氏がこの曲を創ったきっかけは、26歳で自ら命を絶った大切なうたごえの仲間を偲ぶためと聞いた。ともに生き無念の別れを告げざるを得なかった仲間への深く優しい鎮魂の心も込めているのだ。これからも平和を願いつつ、今は亡き人々を偲び歌い続けたい。

ご注文はメール・FAXで 広島合唱団・広島合唱団団員までお気軽に

企画・制作 広島合唱団

〒730-0853 広島市中区堺町1丁目2-9

TEL.082-294-3981/FAX.082-295-5065

E-mail:hiroutakyo@yohoo.co.jp